

事前評価調書

I 事業概要		
事業名	治山事業（予防治山事業）	
地区名	岡崎市桜形町字トドメキ他	
事業箇所	岡崎市桜形町字トドメキ他	
事業のあらまし	治山施設を整備することにより、荒廃溪流を保全し、山地災害を防止する。	
事業目標	【達成（主要）目標】 谷止工3個を設置し、荒廃溪流の保全を図る。	
事業費	事業費	
	44百万円	
事業期間	内訳	
	■工事費 44百万円、□用補費 百万円、□その他 百万円	
採択予定年度	平成27年度	
着工予定年度	平成28年度	
完成予定年度	平成28年度	
事業内容	谷止工3個を設置する。	
II 評価		
①事業の必要性	1) 必要性	当該地域では、溪流の荒廃が進み、山地災害の発生の恐れが懸念されている。地元からの事業実施の要望も強いいため、治山事業の実施が必要である。
	判定	A A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 山地災害の未然防止を図る上で、当該地域における事業実施が必要であるため。
②事業の実効性	1) 事業計画	平成26年度に測量設計委託を1百万円で行い、平成28年度に工事を44百万円で行う計画となっている。 事業期間は平成28年度で、総事業費は44百万円の予定である。
	2) 地元の合意形成	合意済み
	判定	A A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。 【理由】 地元の合意形成が図られており、実効性が期待できる。
III 対応方針		
妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
■対象（事業完了後5年目） □対象外		
【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】		
【主な評価内容】 治山施設の整備状況		